

媒体資料

全国中高ダンス部直送型フリーマガジン&ウェブサイト

ダ★ンスク!

www.d-s-k.jp

DSK

Update:2019.6.13

Ver.03

株式会社ディーエスケイ

ダンスク!

★日本の未来を作るのは「ダンス系女子」たちです!

★高校生女子の人気部活ランキング

1) ダンス部

- 2) 吹奏楽部
- 3) 軽音楽部
- 4) バスケ部

★2013年からダンス部は吹奏楽部を抜いて女子の人気・人口1位!
★ダンス部のある学校は東京・大阪など都心を中心に全国に広がる!
★創作ダンス部、チアダンス部などが続々とストリート系ダンス部に移行!
★特に進学校・私立・女子校でダンス部は盛り上がり、かつてのストリートのイメージからは逆転現象に!



★キッズ～ティーン女子の習い事ランキング

- 1) ピアノ
- 2) 英語
- 3) ダンス
- 4) 水泳

★ここ5年でベスト3にランクインした「ダンス」
★ストリートダンスがバレエの人口を抜く!
★2012年から公立中学校でダンスが必修化!
★日本のストリートダンス人口は400万人!



★東京五輪に向けて日本の代表カルチャーに



リオ五輪の閉会式で見たように、日本の新カルチャーとしてダンスが注目が集まっています。人口・クオリティ・独創性すべてにおいて世界をリードする日本のダンスは、2020年にオリンピックの「華」となるに違いありません。2018年にはユースオリンピックでダンススポーツが競技化!



いま学校内で影響力を持つのは「ダンスをやってる女子」。
彼女たちのアクティブ&ポジティブな発信力がこれからの日本を元気にします!

～ダンスでスクスク！スクール（部活）ダンサー応援マガジン～

中高ダンス部 直送型フリーマガジン

ダンスク！

これだけスマホが普及し、SNSがコミュニケーションの主流になっていくと、その反動である「揺り戻し」が起り始めます。ダンスがこれだけ盛り上がっている理由の一つには、人と人がぶつかり合う生身のコミュニケーションの面白さがあり、スマホの画面に疲れた若者の目には、紙媒体の確実な情報伝達力が新鮮に映ります。その経緯と意義＝**教育現場で行なわれるダンスの素晴らしい可能性**を伝えるべく『ダンスク！』は2015年7月にスタートしました。



【概要】

- ・全国ダンス部**2,000校**のダンス部顧問へ直接配送
- ・隔月中旬刊行（1・3・5・7・9・11月）
- ・毎号**40,000～50,000部**（イベント配布数により変動）
- ・A4変形／16ページ～32ページ

【主な内容】

- ・ダンス部にとってのダンス上達ノウハウ
- ・ダンス部訪問レポート（毎号連載）
- ・編集長やプロダンサーによる評論
- ・ダンス部にまつわるDATA統計
- ・ダンス部員・顧問・コーチの声



中高ブカツの新ジャンル＝「ダンス部」の盛り上がり背景

2010年～キッズダンスブーム

- ★人気の習いごととして定着
(小学生女子の部3位)
- ★キッズダンスイベントの一般化
- ★雑誌『ダンス・スタイル・キッズ』創刊

2011年～エンタメとしてのダンス

- ★EXILE、Perfumeなど踊れるアーティスト台頭
- ★テレビ・ネットでダンスが注目コンテンツに
- ★世界で活躍する日本人ダンサーの登場

2012年～中学ダンス義務教育化

- ★中学生25万人がダンスに触れ合う機会
- ★「教育としてのダンス」に注目が集まる
- ★風営法によるダンス営業規制が緩和の動き

日本のダンス競技人口=400万人
※日本ストリートダンス協会調べ

★「キッズダンス黄金世代」と呼ばれる、2000年生まれの子供たちが高校生の年齢に育ち、まさに「**ダンスネイティブ**」な世代が台頭。

★ダンス義務教育化による学校側の理解と応援が深まった環境下で、学生たちの**アクティブな動き**として「ダンス部」が盛り上がる。

★アートでありスポーツ～文化系と体育会系のブレンドである今の時代との相性の良さや、**女子が主役になれる**部活であること。

★ダンスで育まれる**創造性**（クリエイティブ）と**強調性**（コミュニケーション）が、これからの教育（アクティブラーニング）に有効であること。

★ダンス部員は、学校でいわゆる**目立つタイプ**=インフルエンサー。かつては、学校外で羽を伸ばしていたタイプの女子が**ダンスで青春**する時代に。

★ダンス部主要大会は、官公庁や自治体、大手スポンサーにサポートされる**優良コンテンツ**。男子が野球とサッカーならば、女子はダンス！



こんなにある！ ダンス部大会



ダンススタジアム (日本高校ダンス部選手権)

>> 最大規模開催、ダンス部界の甲子園的存在。予選7カ所開催、393校、7,629人参加。



全日本小中学生ダンスコンクール

>> 朝日新聞主催、小学校のクラス参加から、中学校のダンス部参加、スタジオ参加なども可能な裾野の広い大会。



全国高等学校ダンス部選手権 (DCC)

>> avex、夏のa-nationで開催、漢字二文字で表現する作品、華やかさNo.1。



日本ダンス大会

>> スポーツメーカーのミズノが関わる、「見て学ぶ」ダンス部大会



全国高等学校チームダンス選手権

>> ダンス部顧問の教員たちによる大会。公式大会 (インターハイ) を目指す。



高校生ライブMUSIC DAYS

>> 軽音楽部とダンス部が参加するミックスタイプ高校生大会



USA Nationals ミスダンスドリル

>> アメリカのチアダンス団体が主体。最近はヒップホップ部門も盛ん。



全日本高校・大学ダンスフェスティバル

>> 長い歴史を持つ創作ダンス主体の神戸の公式大会



*その他、神奈川県や渋谷区などの自治体が主催する高校ダンス部コンテストが毎年開かれています。